

「オリパラムーブメント実感プロジェクト」実施業務

評価項目	北日本広告社
	A社
・2030年までの具体的なロードマップ、アクションプランがわかりやすく整理され、統一感のある展開となっているか。	51
・オリンピック・パラリンピックが持つ価値を市民に実感してもらえとともに、広く浸透させることが出来るものになっているか。	54
・基本プロジェクトの目的がしっかりと市民に伝わるとともに、自ら参加したくなる取り組みになっているか。	45
・市民が気軽に直接参加できる取り組みとなっているか。	48
・番組構成はコンセプトとテーマに沿った内容か。	16
・高い視聴率が期待される放送枠が提案されているか。	14
・目的に沿った放送スケジュールか。	16
・仕様書に沿った放送回数、放送時間(尺)が確保されているか。	14
・本プロジェクトのコンセプトが市民に伝わるメッセージ性のあるものか。	14
・創意工夫された媒体で、配布による効果が見込めるものか。	12
・本業務の目的が達成可能な独自の提案があるか。	16
・価格と内容のバランスが適当であるか。	14
合計	314
順位	1

※参加委員5名の総合計点500点のうち、最低基準点である5割(250点)を超えたら原則として契約の優先交渉団体